

あけましておめでとうございます



牛津小学校6年生親子もちつき大会



発行所
佐賀市与賀町 1-24
佐賀県PTA連合会
☎0952-262276
印刷 佐賀印刷社

あけましておめでとうございます。
PTA会員の皆様には、お子様とともにすばらしい初春を迎えること、心よりお慶び申し上げます。
昨年は、明治維新から百五十年目の節目を記念した様々な催し、県内各地で行われました。一月十四日に幕を閉じる「肥前さが幕末維新博覧会」においても、多くの子どもたちをはじめ、保護者の皆様にも御来場いただき、感謝しております。これまでに見聞きした感想の中



「新年のごあいさつ」

佐賀県教育委員会
教育長 白水 敏光

には、佐賀を誇りに思う気持ちとともに、家庭での会話や子どもたちが地域に目を向けるきっかけになったことなどがあり大変嬉しく思っています。
昨年、佐賀県PTA連合会は、創立七十周年を迎えられました。記念レセプションや研究大会では、PTA活動の本質である、学校と家庭、地域のつながりの大切さ、そのつながりの中で親も子も教員も、ともに学び、成長する活動が大切であることが再確認されました。この不易の志が、脈々と引き継がれていることに、感謝の念と頼もしさを感じたところです。
今年は、次の一年目を迎える年です。学校教育は、新学習指

導要領の実施に向けて、重要とされている地域や家庭、関係諸団体と連携・協働をさらに進めるべく取り組んでいきます。
PTA活動のこれまでの歴史や縦、横、斜めのつながりは大きく、これからの子育て・教育においてますます重要になります。論語の「故きを温ねて新しきを知れば、以て師となるべし」のとおり、これまでの活動を支えてきた志を大切にしつつ、時代に応じた新しい活動、つながりをつくっていくことで、未来への新しい一歩を踏み出してほしいと願っています。
子どもたちの健やかな育成のために、これからも力を合わせて教育に取り組んでいただければ幸いです。
最後になりましたが、PTA活動が一層充実し、会員の皆様とお子様にとりまして、輝かしい年となりますようお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。



「新年のごあいさつ」

佐賀県PTA連合会
会長 江田 明弘

あけましておめでとうございます。
日頃より、会員の皆様には本会の活動に対し、多大なご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。
佐賀県PTA連合会も昭和二十二年の設立以来、昨年で七十年目を迎えました。これもひとえに、県内PTAのOBの皆様や現役会員の皆様、そして本会の活動をご支援頂いている各種団体の方々のご協力のおかげと心から感謝申し上げます。
PTAの活動において保護者

の負担を減らそうと活動を縮小していくところもありますが、皆が忙しい時代だからこそ、本来の役割を再認識し支えあう必要があります。
PTAは本来困った時に助け合い、時には学校や子どもの問題を解決して学校を支えるものです。そのためには、保護者、学校、地域の互いが顔の見える関係作りが必要だと思っています。PTA活動を通じて保護者や学校の関係者が、同じ立場や違う立場の人たちと、子どもたちのよりよい教育環境づくりをめざして、より多くの「つながり」を模索し、共に「学ぶ」ところです。
いつの時代も子どもたちにと

ってそれぞれの未来は未知数です。それは期待と不安に彩られています。情報やモノが国境を越えて、世界中で進展しているグローバル化やかつてない少子高齢化社会の中で、子どもたちは将来を見据え成長していかなくてはなりません。こうした時代を背景に、私たちPTAは子どもたちの健やかな成長と自立を願うと同時にその指針を示さなければなりません。だからこそPTAが存在する意味は大きいのです。
七十年間の長きに渡り存在してきたPTA。これからもこれまで以上に必要とされる組織を目指し、「変えるべき」と「守るべき」をしっかりと見定め、子どもたちの輝く未来のために、共に集い・学び・切り開けるよう、そして佐賀県PTAが一丸となり絆が深まりますよう、変わらぬご支援ご協力をお願い申し上げます。新年のご挨拶とします。



第三十九回市郡連親睦母親ミニソフトバレーボール大会
平成30年10月13日(土)
母親委員長 石山 恵美
第三十九回市郡連親睦母親ミニソフトバレーボール大会を、今年も芦刈文化体育館で楽しく行ないました。
各チーム、楽しそうにされていて、見ていて、今年も開催出来て良かったなあと感じました。親睦の大会ですが、勝負は勝負がやっぱり嬉しいので、一セット取られたら取り返す等、全力でチーム一丸となって、ボールを追う姿が素晴らしかったです。こんな一生懸命な親の姿を、全ての子ども達に見せてあげたいと思いました。今年は、江田会長も、選手として参加されていて、楽しそうでした。
交代の選手が一人もないチームもあり、怪我をしないようにとか皆で声を掛け合い、頑張っているチームもありました。そんな中、開催出来たので嬉しく思います。参加して下さった皆さん有難うございます。
又、審判をして下さった方々、駐車場整理をして下さった方々、楽しい準備運動をして下さった方々、有難うございました。今後PTA活動にご協力を宜しくお願いします。

ランドセル



二十数年前、私が小学生の頃、近所には沢山の子どもがいて、小さいけれど近くに公園がありました。
遊びと言えば、公園を中心にして鬼ごっこや缶蹴りを学年関係なく、一緒に走り回って遊んでいたことを思い出します。
今でも、公園は狭くなってしまうかもしれませんが、子ども達が集まり元気に大声で笑いながら楽しそうに遊ぶ姿を見かけます。
今では、環境の変化で昔出ていた季節ごとの遊び、夏にはプールや川遊び、冬には登校中によく見かけた屋根から垂れ下がる氷柱があったり、雪が積もることもありません。そんな体験も少なくなっていることが残念に思えます。
それでも子ども達は、その時々で変化して行く物事に対して、素直に反応し自分達に合った遊び方や過ごし方を見付け出して行くのだと思います。
子ども達には沢山の経験をし、いろんな刺激を受け、学び、感じてほしいと思います。
来年、私の次男が一年生になります。長男の時と同じく、まだ小さな体には大きめのランドセルを背負い歩く後ろ姿を、心配しながら見送り、日々たくましく成長して行く姿をしっかりと見守って行きたいと思っています。
中原小 P 入江 政勝



私は、目標にしている人がいます。それは、私の小学校にいる保健室の先生です。

前まで私は陸上の選手になって世界で活躍したいという夢がありました。ある日、学校でけがしたときに手当てをしてもらっていて、その姿が「カッコいい」と思ったので私は、陸上の選手の夢も持ちながら保健の先生にもなりたいたと思いました。

保健の先生になるためにこれから頑張っていくことは、勉強とスポーツを両立させていき、なにごとも積極的に行動し、コミュニケーションを大切にしていけることが私の頑張っていくことです。一日一日を大切に、目標に向かってこれからの学校生活を送っていきたいです。



中尾 鈴菜

私は今、勉強を頑張っています。それは自分の夢をかなえるためです。

私は将来保育士になることが夢です。高校で基礎的な知識・技能を学んで、大学で保育士になるために頑張ろうと思っています。

私は小さい子どもが大好きです。去年、保育園に職場体験に行きました。たくさんの子どもの対応して仕事をしている保育士の方々を見て、私も子どもの笑顔を増やせるような保育士になりたいと強く思いました。

夢をかなえるためにまずは、今できることを一生懸命頑張つて、将来子どもに夢を与えられる保育士になります。



佐志中 眞木みなみ

私の将来の夢は、キャビンアテンダントになることです。私が小学三年生の時、家族旅行で飛行機に乗り、飛行機の中で流暢な英語を話すキャビンアテンダントの方に、憧れたのがきっかけでした。

私は、今、この夢を実現させるために、英語の勉強をがんばっています。また、英語だけでなく、他の言語も学び、色々な人種や国の人と話して、コミュニケーション力をもっと高めていきたいと思っています。

これからも、キャビンアテンダントという夢を叶えるために、日々努力していきたいと思っています。



田代中 江頭 瑚音

「大丈夫！これを飲めばすぐよくなるからね。」これは、私が小学生でインフルエンザにかかり、薬局に行ったときの薬剤師さんの言葉です。薬剤師さんの言葉は辛かった私を安心させ、元気づけてくれました。「私もこんな人になりたい！」と強く思ったのを覚えています。そして、いつの間にかこの薬剤師さんの姿は、私の憧れの存在になっていました。

私は今、この「叶えたい夢」に向かって、努力しています。時々、心が沈んだり、落ちこんだりすることもありますが、私を支えてくれるたくさんの人に感謝しながら、前進していきたいと思っています。



神崎中 渡邊 星子

私の将来の夢は、子どもを笑顔にする、明るく優しい保育士になることです。私は、保育園に通っていた時に担任の先生にあこがれていました。ピアノを上手にひいたり、冬には「おゆぎかい」の衣しよの準備や自分達にふりつけを熱心に教えてくれた先生がとても大好きでした。そんな優しくておもしろい先生も、時には厳しく指導して下さいました。もう一人、保育士としてあこがれている人がいます。それはお母さんです。私は、お母さんの仕事を手伝ったことがあります。その時、子どものことを楽しそうに話すお母さんにあこがれています。これから夢に向かって、がんばっていきます。



塩田小 小池 優依

第六十三回
日本PTA九州ブロック研究大会 鹿児島大会
明治維新一五〇年
語いもんそ鹿児島で
みんなで成長していくPTA活動
分科会 平成三十年十月二十七日(土)
全体会 平成三十年十月二十八日(日)



九州各地より、七四〇〇人が集い「地域や学校をはじめ、豊かなつながりの中で、次代を担う子どもたちを育てるPTA活動はどうすればよいか」を研究主題に九P鹿児島大会が開催されました。

一日目は、分科会が行われ、佐賀県を代表して、北方中学校PTAが実践発表をされました。

二日目は、鹿児島アリーナにおいて全体会と株式会社てっぺんの大嶋啓介さん「大人が変われば子どもが変わる。子どもが変われば未来が変わる。」という演題で熱く感動的な記念講演をしてくださいました。お話の中で「予祝」を薦められ予祝とは、成功したことをイメージして先に達成感を味わうことで、脳は想像した成功を実現しようとする力があるというものでした。参加者全員で勝ち負けに関係なく、史上最高の喜び方で喜ぶ本気じゃんけんをしたり感動的な講演で大盛り上がりでした。

来年度は、福岡県大会十月二十六日(二十七日開催です)。

表彰受賞
おめでとうございます

団体表彰(六団体)
鳥栖市立基里中学校PTA
神埼市立神埼小学校PTA
佐賀市立富士小学校PTA
小城市立桜岡小学校PTA
唐津市立鬼塚中学校PTA
唐津市立西唐津小学校PTA

個人表彰(九名)
山崎 裕史
宮崎 悟
樺島 永二郎
吉村 浩
辻 安秀
西村 悦子
岸本 弘子
井上 浩
石橋 恵美子

感謝状(二名)
井上 浩(県P前副会長)
石橋 恵美子(県P前副会長)

第五分科会

『家庭・学校・地域がつながり子どもを育てていくPTAを目指して』

本校PTAでは、子ども達とのつながりを大切に、体育大会時親子綱引きや夏休みの親子除草作業、各学年の親子ふれあい行事などを実施しています。

また、地域でも子育て支援やPTA活動の充実のために「地域子ども教室」や市連合PTAの「我が家のルールづくり」の取り組みが行われています。

これらのことや現在の子育ての実態などを「子どもとの関わり」の面からアンケート結果をもとに分科会で報告しました。質疑応答や協議の時間には、多くの意見や感想が寄せられ、大変充実した分科会になりました。発表したことを今後のPTA活動に活かすとともに、子どものよき相者・理解者になれるよう努力したいと思っています。



保護者の一言が子どもたちの学ぶ力を育てます！

学ぶ力=子どもたちが将来にわたってたくましく生き抜くために必要な力

学びに向かう力や姿勢

- 意欲や興味・関心
- 挑戦する気持ち
- 粘り強く取り組む力 など

学び方

- 内容や時間を決める
- 取り組む順序を決める
- 内容の軽重を判断する など

家庭学習の習慣化など

整理・整とんができたとき、ほめるようにしたら、忘れ物がなくなりました。(小4男子の母)

何かできたときに「すごい!」「やればできるね!」とほめると、やる気が出るようです。(小3男子の祖母)

学校からのプリント類は出す場所を決めています。(中1女子の母)

テストが返ってきたときは、必ず解答用紙を見せてくれます。点数よりもできたところをほめています。(中2男子の母)

保護者の働きかけ

- 子どものよいところを褒めるなどして自信を持たせるようにする。
- 言葉や姿を通して、努力することの大切さを伝える。
- 言葉や姿を通して、最後までやり抜くことの大切さを伝える。 など

「学ぶ力」を育てる 保護者の働きかけ

佐賀県教育庁教育振興課

子どもたちの「学ぶ力」を育てましょう！

子どもたちが予測不能なこれからの社会をたくましく生き抜くためには、自ら「学ぶ力」を育てることが不可欠です。「学ぶ力」を身につけた子どもは、このことと努力を重ねたり、自ら課題を解決しようとする姿勢が見られたり、色々な事に対して積極的に取り組むことができたりします。この「学ぶ力」の育成には、保護者の日々の働きかけが大きな役割を担っており、子どもの意欲や興味・関心、

子どもたちが予測不能なこれからの社会をたくましく生き抜くためには、自ら「学ぶ力」を育てることが不可欠です。「学ぶ力」を身につけた子どもは、このことと努力を重ねたり、自ら課題を解決しようとする姿勢が見られたり、色々な事に対して積極的に取り組むことができたりします。この「学ぶ力」の育成には、保護者の日々の働きかけが大きな役割を担っており、子どもの意欲や興味・関心、

挑戦する気持ち、粘り強く取り組む力などを高める働きかけを行うことが有効です。

例えば、「いいねそれ!」「頑張ってきたね!」「いやってみなうー!」などの声かけをタイミングよく行うことで、子どものやる気を引き出し、そのやる気を持続させることができます。

家庭学習の習慣化などを通して、こういった力や姿勢が高まると、自然に物事を深く考えたり、工夫したり、創造したりして学力の向上にもつながります。その結果、達成感や充実感が得られ、「次も頑張ろう」という意欲や「自分にもできる」という自信などが強化されます。

学校、家庭が協力して、これから生きる子どもたちに不可欠な「学ぶ力」を育てましょう。

佐賀県PTA連合会創立70周年 (一財)佐賀県ピーティーエー会館設立50周年 記念レセプション

平成30年11月9日(金) ガーデンテラス佐賀ホテル&マリトピア

ご来賓の祝辞

主催者のあいさつ



佐賀県知事
山口 祥義 様



佐賀県教育委員会教育長
白水 敏光 様



県PTA連合会名誉会長代理
山本 由子 様



県P会長
江田 明弘



会館理事長
松永 真治

去る十一月九日(金曜日)にガーデンテラス佐賀ホテル&マリトピアで開催されました。山口祥義知事、白水敏光佐賀県教育委員会教育長をはじめ多数のご来賓と、県内の単位PTAの会長、校長先生など約三五〇名の出席を得て盛大に行われました。

会では、佐賀県PTA連合会の江田明弘会長が「現在の活動ができるのは先輩方の努力があったから、未来を作る子どもたちのために今後も活動し邁進する」とお礼と決意のあいさつをしました。

山口祥義知事は祝辞の中で、「家庭や学校、地域での子どもたちへの様々な取り組みに感謝し、佐賀に生まれてよかったと思えるように取り組んで行く」と述べられました。

アトラクションには、熊本県



より童謡歌手、「そがみまこさん」をお招きし、ミニ童謡コンサートを行いました。日本に古くから歌い続けられてきた童謡や抒情歌を透き通った声で歌っていただきました。

単位PTAから出席の皆さんたちは、市郡連の仲間と盛り上がる、OBの皆さんたちは当時の活動の思い出話に盛り上がりました。

九州各県、政令都市の協議会の会長様方もご出席いただき、一緒に節目をお祝いいただきました。

大変お忙しい中、県内各地からお集まりいただきました皆様方に心からお礼申し上げます。また、このレセプションを通して市郡連の皆様との繋がりがより強くなり、今後のPTA活動に生かされますことを願いお礼の言葉といたします。

【実践報告】

●「地域と共に歩む基里っ子」コミュニティクール(一年生)」

発表者 鳥栖市立基里中学校PTA 会長 高橋 修

●「地域で育てる麓っ子」笑顔でトライ！トライ！トライ！(Passive To Active)」

発表者 鳥栖市立麓小学校PTA 会長 山口 修

県内のPTA関係者が一堂に会する「県PTA研究大会」が十一月十七日、基山町民会館で開催されました。小中学校のPTA役員や教職員ら約八〇〇人が、事例発表や講演を通して、今後の活動のヒントを探りました。

研究大会は、PTA活動を活性化し、地域との交流を深めようと年一回、県内十一地区が持ち回りで開いています。開会式では県PTA連合会の江田明弘会長が「子育ての目的は子どもを自立させること。そのためには家庭だけでなく学校、地域がつながることが大切」とあいさつしました。

事例発表では、鳥栖市の基里中学校と麓小学校が登壇しました。施設分離型の小中一貫教育を実践している基里中は、小中交流授業として「川柳」



開会式

キッズミュージカルFOSU

田代中学校吹奏楽部

子どもと歩む！心を育て、楽しむPTA活動

～地域・学校とともにやっています！！
家庭教育～

【記念講演】

演題『インディペンデンスを与える家庭教育』

～私が日本で子育てをする理由～

講師 ポビー・ジュード氏

記念講演は、テレビなどで活躍するアメリカ出身のポビー・ジュード氏が「インディペンデンスを与える家庭教育」の演題で話しました。日本の教育環境の違いを説明し、「日本の学校は安全」と強調。日本の学校で当たり前になっていることが、アメリカ人には驚きになっている例として「学校でのモラル教育」「家庭訪問の制度」「放課後、週末でも児童生徒に問題があれば対応すること」などを挙げました。また、自立した子どもを育てる重要性を強調し、「してあげる」ではなく「させてあげる」ことが重要。親は子どもができるようになるための手本などと語りかけました。



基里中学校



麓小学校



ポビー・ジュード氏

第六十三回 平成三十年度
佐賀県PTA連合会創立七十周年記念
(一財)佐賀県ピーティーエー会館設立五十周年記念
佐賀県PTA研修大会鳥栖・基山大会
平成三十年十一月十七日(土) 基山町民会館



我が家には、八歳・五歳・二歳のやんちゃ盛りの子どもがいる。私もフルタイムの仕事、主人も夜遅い仕事で、ほとんど夫の実家に頼りきりの毎日。平日はゆっくりでできず、子どもに申し訳ないなと思っている。そんな中、私が大切にしている時間は、就寝前の「お布団タイム」だ。四人で布団に入り、小さな灯りだけを点けて、絵本を読んだり、お話したり。それぞれお気に入りの絵本を交互に読んでいると、寝るのは遅くなってしまうのだが、子どもも私もコレがないと眠れない。小学生の長女は、布団の中で学校での本音をポツリ言ってくれたり。

主人がいる夜は「布団ブランコ」の日。子どもを布団に包み、ゆらゆら揺らす。このささいな「お布団タイム」をもうしばらく、大切にしていきたい。

西川副小P カ久 恭子

成和小P 池田 光

子育て応援メッセージ

子どももびーびー成長!

- つながろう! 元気にあいさつ 笑顔でね
- 育もう! 食卓でつくる 家族の絆
- 受けとめよう! 子どもの心 メッセージ
- 伝えよう! 感謝の気持ち ありがとう
- 見守ろう! 地域ぐるみで 輪になって
- 話し合おう! ルールを守って 情報モラル

私は三人の子育てをしているワーカーママ。パタパタと過ごす毎日充実して楽しいと思えることは、周囲の手助けのおかげだと本当に感謝しています。

子育てで大切にしていることは、同じ目線で考え何事も精一杯楽しめ、子どもの意見を尊重し見守ること。普段の生活でつい、親の意見を言い過ぎてしまいうるようになることがあります。そんな時は深呼吸。落ち着いてゆっくり話す時間を作り、子どもの話に耳を傾けるよう心がけます。

とはいっても、理想と現実(笑)。なかなか落ちていてゆっくりとはいかないですが、子どもと一緒に親も成長させてもらっている事が子育てだと感じます。我が家とはにかく楽しい毎日が目標。子どもたちのたくさんの笑顔で私たちも元気になる、笑顔と元気の嬉しい連鎖です。

日新小学校のPTA活動

日新小P
会長 小川 哲彦

一八七四年に日新小学校は開校し、今年で百四十四年になります。日新小には三つのシンボルがあります。一つ目は、日本で初めて鉄製大砲を鋳造した「反射炉」です。この反射炉は、佐賀の先人に倣って、文化を拓く豊かな知恵と優れた技を身につけさせたいということ象徴しています。二つ目は、清い心と素直さを伸ばしたいということを表している「藤の花」です。この藤の木は一九一二年に植えられ、日新小の長い歴史とともに生き続けています。

そして三つ目は、心身共に明るく健やかに育ってほしいことの象徴である「少年の像」です。これは昭和の初めから校技として引き継いできた相撲体操をか

唐津第一中学校のPTA活動

唐津第中P
会長 古藤 悟

唐津第一中学校は、昭和二十二年に創設され、佐賀県内でも伝統ある中学校です。また、ユネスコ無形文化遺産に登録されている「唐津くんち」の伝統を担う地区の中学校でもあります。本校は、「自信と誇りを持ち、主体的に学習や活動ができる生徒の育成」を教育目標に掲げています。今年度の重点取り組みとして、①生徒が主体的に学ぶ魅力ある授業を展開し、学習意欲を高める。②学校生活の中で生徒に活躍の場を持たせ承認する場面を増やし、自己肯定感を高める。

たどったものです。また、日新小の敷地内には土俵があり、「相撲大会」も伝統行事として毎年行っています。相撲体操は、一九二八〜一九二九年にかけて考案され、相撲場は一九三六年に建設されました。現在では日新小といえば「相撲」・「相撲体操」で、相撲体操は運動会の時に披露されています。

相撲場では毎年、春に相撲大会が開催されます。子どもたちには相撲大会開催の前に「日新小の相撲について学ぶ会」があり、日新小の相撲や相撲体操の歴史、相撲甚句を学び、日新小の伝統を引き継いでいくことの大切さを学習しています。

特色ある単Pの活動

～佐賀市・唐津地区編～ Vol.56

③「立腰教育」を柱とした授業規律を確立し、規範意識と自己指導力を高める。の三点に取り組んでいます。また、コミュニケーションスクールとして保護者や地域の人と連携し、開かれた学校を目指しています。



花瓶に花を飾っています。同窓会からも賛同を頂けたことで、唐津焼の作家をされている卒業生から花瓶のプレゼントもありました。生徒の保護者だけでなく、卒業生も一中サポーターの会の会員として学校の運営にご協力いただいています。



日新小学校では校技として相撲に取り組んでいます。この土俵は、PTAのOBと保護者で構成されている「やろう会」やPTA本部役員、そして先生方で整備をしています。やろう会のメンバーはPTAを卒業しても、土俵の整備や夜間パトロール、警備などの活動を行っています。一五〇周年、そしてその先に日新小の伝統を引き継いでいくために、子ども・先生・保護者・地域が一体となってPTA活動を行っています。

佐賀県PTA連合会推薦 小・中学生総合保障制度(こども総合保険)について

お子様の「ケガ」「育英費用」やご家族の「個人賠償責任」などに備えられます。

学校内はもちろん、放課後の遊戯中・クラブ活動中や休日のレジャー中の事故など様々なケガに備えられます。

他人にケガを負わせたり、他人のものを壊したりして法律上の損害賠償責任が生じた場合に備えられます。



※保険商品の概要を説明したものです。詳細につきましては取扱代理店にお問い合わせください。

○制度に関するお問い合わせ先: **0120-228-553** 佐賀県PTA連合会保障制度事務局(取扱代理店:株式会社コーリン)
受付時間:平日午前9時～午後5時(土・日・祝日、年末年始を除く。)

○制度引受保険会社: AIG損害保険株式会社 東京海上日動火災保険株式会社 損害保険ジャパン日本興亜株式会社

2019年1月現在の内容です。